

今般鎮撫為

御総督御下向被成下、難有仕合奉存候、然ル処主人鍵之助  
義ハ兼勤

王之儀、家来始百姓共江申諭二付、至是節弥以二念無之  
儀ニ御座候、何分宜御執成伏而奉願候、以上、

二月

鍵之助家来

誰印

辰二月

三淵鍵之助家来

誰印

江崎清兵衛様

熊澤衛門佐様

名古屋藩御掛り

福岡寛蔵

會田富彦

江崎清兵衛

林吉右衛門

熊澤衛門佐

三月廿九日

三淵縫殿助印

荒川弥五右衛門殿

同断

同断

同断

四月八日

今ヶ淵村エ土着

四月十一日

江州江出立

同月十七日

大津採判所江御届書

同月十八日

京都江登り細川様御屋敷江参り

同月廿五日

笠松御県江御伺主従共

閏四月二日

細川越中守様御内林新九郎様願書

太政官江御差出

一今般

太政官弁事御掛り谷森左衛門尉殿ヨリ御内意之事

六月廿日

六月廿五日

笠松御県江主従御伺

六月廿九日

着京

七月二日

弁事御役所江細川・三淵両家共書願差上

七月十七日

願書秋月右京亮様御預

八月二日

弁事御役所

八月四日

同断

九月十二日

秋月右京亮様

十月九日

弁事御役所

十月十三日

非蔵人口御用

十一月十七日

弁事御役所

十一月廿二日

同断

其方共先達而以來願書差出有之儀ニ付、今度東京於テ御用有之候間、早々彼表江罷下り参着之趣、触頭江可届出候、此段相達候事

十一月廿九日

行政官ヨリ